

<資料 >

「私達が立っている場所」受講者アンケート

< 55人を集計 >

( )期氏名( )

\* 直接この用紙にお書き下さい。裏面も使っていただいて結構です。

1 選択した動機についてお聞きします。なぜこの科目を受講しましたか？

(複数回答可)

- 1 現代文の力をつけたかったから。 37
- 2 学校設定科目をとっておきたかったから。 8
- 3 グループ発表など授業の方法に魅力を感じて。 21
- 4 先輩や先生からのアドバイスがあったから。 7
- 5 担当者(小山)の授業をとりたかったから。 20
- 6 なんとなく。 9
- 7 その他

科目名が変わっていて気になったので/面白そうだった/このままじゃ人数少なくて開講出来ませんっていうプリントを読んで。そのプリントがおもしろかった。直感。こいつはヤバイ!とるべきだ!/「私達が立っている場所」は確か、私たちの期が最初だったと思います。/普通の現代文がおもしろくなさそうだったから。/何となく惹かれる題名で、友人も同じ授業を取ってみると、話していたので、現代文の力をつけたかったし選択してみました。/

2 よく学べた授業、印象に残っている授業は何ですか? 番号に を打ってください。

( )は作品のキーワードです。

(複数回答可)

グループ発表

- 1 「『である』ことと『する』こと」丸山真男(制度の自己目的化・価値の蓄積) 46
- 2 歴史としての科学 村上陽一郎(パラダイム論・対自化・知的冒険) 28

講義授業

- 3 文学のふるさと 坂口安吾(救いがないことが救い・大人の仕事) 11
- 4 君たちはどう生きるか 吉野源三郎(人間は水の分子・油揚事件) 19
- 5 パニック 開高健(ネズミの大移動・組織と人間) 17
- 6 バッタと鈴虫 川端康成(光の戯れ・恋愛の駆け引き) 2
- 7 安楽への全体主義 藤田省三(能動的ニヒリズム) 6
- 8 掟 F.カフカ(番人・掟はおまえだけのもの) 5
- 9 テクストについて 中島俊(人間はテキスト的存在) 6
- 10 コールドチェーンとひそやかな意志 森崎和江(トマトが泣いている) 1

特別授業

- 11 ニーチェとの対話 芝田秀和先生<本校教頭> 2
- 12 言葉に執して生きた人々(本居宣長) 芝田秀和先生<本校教頭> 2
- 13 短歌創作・合評授業 植山俊宏先生<京都教育大学教授> 3

オープンスクール体験授業

- 14 今宮高校合格必勝マニュアルづくり 4
- 15 もし世界が100人の村だったら 1

受講者からの課題解決授業

- 16 服装自主規制・下校時間を考える(グループ研究) 2
- 17 パネルディスカッション「生きるとは?」 2
- 18 その他

宮本輝の作品だったと思います/10年前で、記憶が乏しいですが...誰の何という著書かはわかりませんが・パラダイム転換の話・発表(当時は個人の発表ではありませんでしたか?)・小山先生自作の映画/グループ発表の際に早朝に集まったこと。/

3 授業の学びについてお聞きします。「私達が立っている場所」では、どのような学びがありましたか?あてはまるものに をつけてください。(複数回答可)

- 1 教材を読み込む力がついた。 37
- 2 現代文の力がつき、受験に役立った。 14
- 3 グループで話し合うことにより、仲間と学び合うことができた。 28
- 4 発表やプレゼンテーションの能力を身につけることができた。 26
- 5 必要な事柄を資料としてまとめる力を身につけることができた。 22
- 6 時間がない状況で協力して学習する力を身につけることができた。 20
- 7 課題を取り上げ、解決する道筋を考えていくことができるようになった。 22
- 8 現代社会に対する問題意識を持つことができた。 20
- 9 期待したほど学べなかった。 0
- 10 その他 6

自由記述欄

- 1 ...一生懸命自分の中にかみくだいた。国語得意やったのに、あんなに苦労させられ

た文章は初めてやったかも知れません。3～7...であることとすること、6番目のお楽しみ班になって、テーマ決めから難航。全体のまとめをすることにしたけど、中途半端は嫌だし、かなり高いものを目指した。他の班は自分の担当箇所だけやけど、私らは全体を読み込んで作った！（という自負）  
 ここでリーダーをやったのが、大学でリアルに生きてる。特にスケジュールをたてること。発表がいつならレジュメはいついつまで、話原稿はいついつまで、実質～日あって、いつ集まれて、みたいなことができるようになった。9...そんなはずはない！/理論的な思考力、民主主義の本質的な意味、等。丸山真男の著作の精読からはもちろん、民主主義に関して（=市民としての意識をもつことに関して）を、学ぶことが出来ました。他に特筆すべき学びとして、村上陽一郎の著作から、私たちの信仰している「真理」（と呼ばれているものの）あいまいさ等がありました。/言葉1つを大切にあんなに時間をかけて考える（思い悩む...）初めての経験となる授業でした。/評論文に興味を持って読めるようになりました。/ものの見方を学ぶことができました。/精読していく力がついたと思います。/人に伝わるような表現をすることの難しさを知ることが出来ました。/本を読み、問題を解いていく現代文の授業だけでなく、3～6も本当に学べてよかった。/「切磋琢磨」というものを肌で感じる事ができた。

4 「私達が立っている場所」の授業が、卒業後から現在までの間、生きたと感じたことはありましたか？

（学習内容・発表の仕方など、どのようなことでもけっこうです。）

- |   |      |    |
|---|------|----|
| 1 | あった  | 44 |
| 2 | なかった | 6  |

5 3であったと答えた人にお聞きします。それは、どのような場面で生きたでしょうか？（複数回答可）

- |   |            |    |
|---|------------|----|
| 1 | 大学や専門学校の勉強 | 28 |
| 2 | 職業生活       | 5  |
| 3 | 毎日の生活      | 24 |
| 4 | 友人との会話     | 17 |
| 5 | その他        | 6  |

自由記述欄

何かの場面で、「授業」が生きたと感じるといよりも、高校時代を思い返した時に今の自分の土台になっているんじゃないかなと感じています。/深く考えるくせがついた/「今」この瞬間/4...私たちネタで盛り上がった。5...ふとした瞬間。授業を受けていて、読んでいて、回路がつながる瞬間ってありませんか？/自分の意見や研究など、発表して聞いてもらうことが楽しいと感じるようになった最初の導入だったように感じます。/5...高校時代の仲間との思い出話。友人をはじめ、大学の教授との会話でも筋道をたて、論理的に話せるようになったと思います。/4...自分の意見と相手の意見を客観視して頭の中でのいるんな見方を立体的に組み立てれる気がします。5...本を読むとき1回じゃなく何度も読むことで、新たな発見があることを学べたので、気になる部分は2度読むようにしています。そうすると、気がつかなかった発見があるので、私たちがとって良かったと思うことがあります。/上の学校にあがると、長文をまとめ、発表したり、レポートを書いたりする事が増えるので、難しい文章を読んで、理解し、スピード良くまとめる時に、役に立ちました。/「である」ことと「すること」(丸山真男)の授業は人間の価値について考えるときに役に立つ。///

6 「私達が立っている場所」の授業の学びがどのように卒業後に生きたか、具体的に教えていただければと思います。

（自由にお書きください。長さに制限はありません。メール等で送っていただいても結構です。些細なこと、個人的なこと、どんなことでも結構です。書かれた内容の秘密は厳守します。安心してお書きください。）

5 授業や今宮高校の思い出、アドバイスなど、今宮高校で学ぶ後輩達へメッセージをお願いします。

ありがとうございました。この用紙をご返送下さい。